



2025 年 4 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ビ ジ ョ ン
代 表 者 名 代表取締役会長 CEO 佐野 健一
(コード番号：9416 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役 CFO 中本 新一
(TEL. 03-5287-3110)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレート・ガバナンスコードに基づき、取締役会の実効性を高め、企業価値向上を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

当社は、全ての取締役および監査役に対して、下記「2. 評価項目」の大項目に関するアンケートを実施しました。回答は5段階評価とし、かつ「理由・改善すべき点」を設けて建設的な意見を得るようにし、全員の回答結果の集計・評価を実施いたしました。

2. 評価項目

(1) 取締役会の構成	(設問 7 問)
(2) 取締役会の運営	(設問 10 問)
(3) 取締役会の議題	(設問 12 問)
(4) 指名報酬委員会※委員のみ回答	(設問 8 問)
(5) サステナビリティ等を巡る課題	(設問 3 問)
(6) 取締役会を支える体制	(設問 2 問)
(6) 株主との関係	(設問 5 問)

3. 評価結果の概要

(1) 取締役会の構成

当社の取締役会は、専門知識や経験等のバックグラウンドが異なる多様な取締役および監査役の 11 名で構成されており、適切であるとの評価結果となりました。

(2) 取締役会の運営

取締役会の「年間スケジュール」「開催頻度」、社外取締役および監査役が自由に発言できる雰囲気もあることから、適切であるという評価結果となりました。

一方で、審議により時間を要する可能性のある議案については、優先的に議論を進めるべきとの意見がありました。

(3) 取締役会の議題

「企業戦略」「議題の選定」「審議時間」「経営幹部の選任・解任」「リスク管理」および「取締役の報酬」に関しては、適切に審議されているとの評価結果となりました。

(4) 指名報酬委員会

指名報酬委員会については、「メンバー構成」「開催頻度」「審議内容」が適切であり、また「選任・解任のプロセス」「選定基準（スキルマトリックス等）」「役員報酬の決定プロセス」についても、公正性および透明性が確保されているとの評価結果となりました。

（５）サステナビリティ等を巡る課題

中長期的な企業価値の向上の観点から、自社のサステナビリティ（ESG・SDGs 含む）に関する取り組みや関連リスクについては、議論できているとの評価結果となりました。

一方で、一定の議論はなされているものの、どこまで踏み込んで対応するかは、改めて別途議論の場を設ける必要があるとの意見がありました。

（６）取締役会を支える体制

外部の専門家から助言を得る機会や会社の事業・財務・組織等に関する必要な知識を習得する機会が与えられている点については、肯定的な評価結果となりました。

一方で、参加する機会はあるものの、その頻度は少ないとの意見がありました。

（７）株主との関係

外国人投資家を配慮した情報開示、英文情報の拡充や株主への利益還元方針についての対話等は適切に行われているとの評価結果となりました。

一方で、過去実施していた株主総会後の（個人株主等に対する）事業説明会の再開については、検討課題であるとの意見がありました。

全評価	4.6
（１）取締役会の構成	4.8
（２）取締役会の運営	4.7
（３）取締役会の議題	4.5
（４）指名報酬委員会	5.0
（５）サステナビリティ等を巡る課題	4.2
（６）取締役会を支える体制	4.4
（７）株主との関係	4.5

上記の評価結果から、当社の取締役会は概ね適切に機能し、取締役会の実効性は確保されていることを確認いたしました。

一方で、「サステナビリティ等を巡る課題」に関する取り組みにつきましては、継続的な議論が必要であることを確認しました。

4. 今後の取り組み

当社取締役会は、今回の評価結果に基づき十分な議論を重ね、課題を解決することにより取締役会の実効性を高め、さらなる企業価値向上に努めてまいります。

以上